

教科	美術	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎鑑賞活動 ○美術館へ行こう！	・美術の分野や一年間の流れについて理解ができる。 ・いろ、かたちなど、造形的な視点について考えることができる。	・2枚のカードからいろ、かたちなどの共通点を見つけ出し、造形的な視点について理解している。	・作品にあるいろやかたちを鑑賞して、造形的な良さや美しさを感じ取ろうとしている。	・様々な美術作品を鑑賞して、美術の世界に興味をもとうとしている。
◎絵画部門 見つめて、感じて、描いて	・対象をよく観察して、線や明暗の表現で、造形的な特徴を基に、身近な素材を愛着をもって描くことができるか。	・鉛筆の濃淡、線の特徴、明暗の変化の作り方などスケッチの方法を理解する。 ・線の性質や陰影のあるなしにも表現の特徴がでることを理解している。 ・時間をかけたもの、時間が短いものを見比べたり実際に描くことで変化を感じ取れている。	・鉛筆以外の素材によるデッサンと比較することで、鉛筆の特徴を理している。 ・対象物観察した際に感じ取れるやわらかさ、硬さ。暖かさや冷たさ、また重さなどを表現するためにはどんな素材を選ぶのが良いか考えることができるか。	・身近な題材を選んでほかにも、画面に取り入れれたり、その取り合わせにより意欲的な学習に取り組もうとしている。 ・参考作品の鑑賞に取り組む際、対象の形を描いている他に内面の意図が働いている。
◎基礎知識 ○色について	・色の理解を深めるために、三原色で色相環を作り、明度や彩度の変化に気づく。 ・絵具を使う上での基本的な知識を整理して日常での色についても意識することができる。	・色と色の関係にも注意して、色を組み合わせた効果について考えようとしている。 ・色が感情にもたらす効果など表現に直接影響することが理解している。 ・美しい色の条件を理解している。	・対比や軽重など効果的な色の表現ができるようになる。 ・色の選択によるバリエーションを増やし、自分がしたい表現に沿って判断ができる。 ・色の効果を意欲的に観察し、鑑賞の際の判断の幅を広げることができる。	・同じ色が周りとの関係でちがって見え、素材によっても多彩に変化することに関心が向く。 ・水の分量や絵具の分量の些細な違いにより変化があることを発見し、意欲的に活動をしているか。
◎デザイン分野 ○文字デザイン ○環境ポスター（夏課題）	・用具の特性を生かして、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う表現方法を工夫して制作できるようにする。 ・レタリングを変形し、イラストレーションと組み合わせで誰かに伝える、伝わるデザインを制作できるようにする。	・明朝体やゴシック体の特徴を理解し、形を変形しすぎずに文字の意味に合わせたフォントづくりを意識している。 ・絵文字制作の際に文字の意味から連想できるイラストレーションを組み合わせることを意識している。 ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。	・レタリングの特徴や文字の意味から主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを思考している。 ・身近な広告物にある文字の形や色彩などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができるようにする。	・表現方法を工夫しながら取り組もうとしている。 ・レタリングの学習を通して、文字表現ものの面白さについて主体的に感じ取ろうとしている。 ・ポスターや出版物など様々な目的を持ったデザインに関心を持とうとしている。
◎鑑賞活動 ○日本美術について 屏風	・屏風の興行や立体感について意見を交わし、作者が意図している余白の美を感じ取ったり、考えることができる。	・色や形に注目し、風神雷神図屏風の位置や、背景の箔について絵に対する効果につながっていることについて理解している。	・作者が意図している余白の美を感じ取ったり、考えようとしている。 ・日本に古くからある美術文化の良さや美しさを感じ取ろうとしている。	・自分ももっている意見を他者と話し合い、様々な考え方や見方をしようとしている。 ・美術文化に興味をもち、主体的に学ぼうとしている。
◎鑑賞活動 ○美術の原始の美に出会う旅	美術の起源や美術の人間とのかかわりを考える。	・原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人の意図や工夫について考えようとしている。	・日本及び諸外国の文化遺産などから、良さや美しさを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の文化について考えようとしている。	・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、鑑賞活動に取り組もうとしている。
◎デザイン分野、工芸分野 ○りらっくいすをつくろう！	・相手の目線に立って座る人をリラックスさせる椅子を考えることができる。	・鑑賞の際に椅子の構造を知り、どのような目的を持った椅子なのか椅子同士を比べながら理解している。 ・構造的に実際に座れるイスを制作しようとしている。	・「どこに」「誰が」座る椅子なのか、どんな風にリラックスさせる椅子なのかなど、豊かに発想し、構想を考えようとしている。	・どんな目的が込められた椅子なのか日々使っている椅子に関心をもとうとしている。